

平成28年12月15日(木)

自然の大切さを これからも伝えていこう

H28朝日自然塾連絡協議会

12月15日(木)、山形市のあこや会館において、今年度の朝日自然塾連絡協議会を協定締結9団体の代表者及び東北森林管理局、庄内・山形・置賜森林管理署、当センター、計15名により開催し、今年度これまで実施した4つのプログラムの評価や反省点、また、来年度のプログラムの策定に向けた意見交換を行いました。

開会にあたり、松葉瀬森林整備部長より「子供たちが、豊かな自然にふれ、体験、学びを通して生きる力を育む場となり、あわせて、地域の活性化になるよう、今後とも朝日自然塾の取り組みにご協力をいただきたい」とあいさつがありました。

今年度のプログラムについては、「どのプログラムも参加者からは好評だった」「この3年間で今年は最も参加者が多かった」等評価する声がある一方、「雨天時のプログラム、対応に不十分さがあった」等、課題も明らかになりました。



挨拶する松葉瀬森林整備部長

来年度のプログラム策定に向けては、応募状況が思わしくないプログラムは見送り、関係団体と打合せのうえ新たなプログラムを検討することや、引き続き安全対策を講じて取り組んでいくこと等を確認しました。

朝日自然塾の実施にあたっては、各団体の皆さま、関係する森林管理署の協力が不可欠であり、今後も連携を密にしながら、プログラムの充実、新たな連携組織の模索を行い、自然と森林の魅力を体験していただく取り組みを進めて参ります。



会議風景